

ユニテクト 30 SF 【55 μ m】

UNITECT 30 SF

一般名称	シリコン変性エポキシ樹脂系下塗・上塗兼用塗料				
適用規格	JIS K 5659:2018 鋼構造物用耐候性塗料 A種上塗り塗料1級				
系統	弱溶剤形シリコン変性エポキシ樹脂塗料下塗・上塗兼用（環境対応型塗料:鉛・クロムフリー）				
主な用途	【橋梁用】	【電力・プラント用】	【鉄塔・鉄骨用】	など	
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート
	○	—	—	—	—

特長

- 1) エポキシ樹脂系下塗塗料の防錆性とふっ素樹脂塗料上塗同等の耐候性を有した中塗上塗兼用塗料です。
- 2) 耐候性が優れ、特に光沢保持性と保色性が優れている。
- 3) 厚塗り性・塗装作業性に優れている。
- 4) エポキシ樹脂系下塗塗料との付着性が優れている。
- 5) 旧塗膜適性が優れ、塗替用塗料として適している。
- 6) 国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)掲載終了製品です。(登録No. TH-090014-VE)

塗料性状	塗料密度(比重)	1.23(白)
	溶剤密度(比重)	0.83
	加熱残分	69%(白)

法令など	ベース	硬化剤
劇物表示 (品名・含有率)	—	—
労安法上の 表示有害物	1-ブタノール 酢酸イソブチル	1-ブタノール

使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等
消防法による 危険物区分	第2石油類(非水溶性)	第2石油類(非水溶性)
硬化剤の成分 による区分	—	—
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆(放散量0.12mg/L以下)	

製品情報	ベース	硬化剤	
荷姿	15kgセット 3.75kgセット	14kg 3.5kg	1kg 0.25kg
混合比(重量比)	ベース:硬化剤=14:1		
主な色(色相)	各色		

素地調整

- 被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。
- 水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。
- 詳細は塗装仕様書を参照ください。

使用方法	調合方法	ベースに対して硬化剤を所定の割合になるまで少しずつかき混ぜながら加えたのち下記のシンナーを規定内で混入し、十分攪拌したのち使用する。
	熟成時間	不要 ※規格に規定があるものは、それに準拠してください。
	使用シンナー	塗料用シンナーA
	希釈率(重量比)	エアレス: 0~10wt% ハケ・ローラー: 0~5wt%
	エアレススプレー 塗装条件	2次圧 : 10MPa(100kg/cm ²)以上 チップNo. : 163-513~617 (グラコ社製)

ユニテクト 30 SF 【55 μm】

UNITECT 30 SF

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗り	55	100	210
ハケ・ローラー塗り	55	100	160

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5°C	10°C	20°C	30°C	40°C	
乾燥時間	指触	8時間	8時間	3時間	2時間	2時間	
	半硬化	24時間	24時間	10時間	6時間	6時間	
標準塗装間隔 注)	最短	48時間	48時間	16時間	10時間	10時間	
	最長	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	
可使時間		8時間	8時間	5時間	3時間	3時間	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 5°C以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 下塗塗料	強溶剤: — 弱溶剤: エスコNBマイルドK、エスコNBマイルド、エスコNBマイルドH、ユニテクト30SFなど ハイソリット: — 水性: —
主な適用 上塗塗料	強溶剤: — 弱溶剤: ユニテクト30SFなど ハイソリット: — 水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200°C耐用、長時間 100°C耐用
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	54.1	1.8
	5	50.3	2.0
	10	47.1	2.1

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。使用上の
注意事項 1)被塗面が結露や霧で濡れている場合は、被塗面の乾燥を十分に確認したうえで塗装してください。
2)硬化剤は湿気を吸いやすいため、容器の密閉・保管場所・保管状態には十分に注意してください。
3)ハケ、ローラーはさき性に優れているので、膜厚確保のためにシンナーで薄めすぎたり、塗り広げすぎたりしないように注意して下さい。
4)器具洗浄用シンナーは、ラッカーシンナーを使用してください。
5)塗装後は使用した刷毛、および塗装機を十分に洗浄してください。
洗浄が不十分な場合に他の塗料を塗装するとハジキが発生する場合があります。
6)塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート)を参照してください。
7)塗装時に塗面温度が50°Cを超える場合、乾燥性が低下する可能性がありますのでご注意ください。
また屋根など太陽光により高温になる部位では、下塗にN-85または白の塗色を推奨致します。